

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名 科目ナンバー	介護総合実習 I IV-8・9・10-1-1		教員氏名	佐藤美紀・佐久間志保子・中野志津江		
学年	専攻科		開講学期	前期		
授業形態	実習		単位数	2単位		
必修・選択	専攻科		実務経験			
テーマ	実習施設にて、介護の知識・技術、利用者へのコミュニケーションを具体的かつ実践的に学ぶ					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群 I 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群 II 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群 III 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				
	科目群 IV 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				○
授業の概要	実習 I の施設実習では、授業で学んだコミュニケーション技術を実際に活用して利用者と家族とのコミュニケーションを図ります。生活支援技術を見学し、簡単な技術を体験します。デイサービスやショートステイの送迎を体験し、施設が地域でどのような役割を果たしているのかを学びます。訪問介護実習では、在宅を訪問し利用者の生活の様子や支援の内容を通してその役割を学びます。					
授業の 到達目標	①利用者の生活の場において、利用者の理解をする ②利用者・家族との関りを通じたコミュニケーションを実践する					
	③利用者の生活全般の流れを理解する					
	④日常生活上の基本的な生活支援技術を実践する ⑤地域における様々な場面において、利用者の生活との関連の理解と家族とのコミュニケーションを実践する					
テキスト	なし					
参考書	2026 実習の手引き					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする					
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0	実施しない			
	授業内課題 ・発表等	100	①施設からの実習評価(80%)②訪問介護実習での実習評価(20%)			
	参加度・ 学習態度等					
	その他					
再試験	行わない	行わない 場合の 理由	実習という授業形態であるため。			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	施設概要や利用者の生活の理解をする	
	授業外学習	〈予習〉実習施設の概要を復習する 〈課題〉実習日誌の記入	
第2回	テーマ 内容	施設で生活する利用者の生活を理解する	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第3回	テーマ 内容	利用者とのコミュニケーションを図る	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第4回	テーマ 内容	利用者との介護者のコミュニケーションを観察・実践する	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第5回	テーマ 内容	利用者を取り巻く環境を学習する・デイサービスやショートステイにおける送迎を経験する	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第6回	テーマ 内容	基本的な生活援助技術の実施をする	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第7回	テーマ 内容	(訪問介護実習) 自宅で生活している利用者の訪問を通して、在宅サービスの目的を理解する	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	
第8回	テーマ 内容	(訪問介護実習) 訪問介護サービスの実際を体験する・本人や家族とのコミュニケーションを図る	
	授業外学習	〈課題〉実習日誌の記入	

課題に対するフィードバックの方法

巡回(2回)での日誌指導や実習指導